

水の元を追いかけていくと、水はじゅんかんしていることがわかりました。



「じゃあ、私たちが使ったあとの水は、どうなるのかしら。」

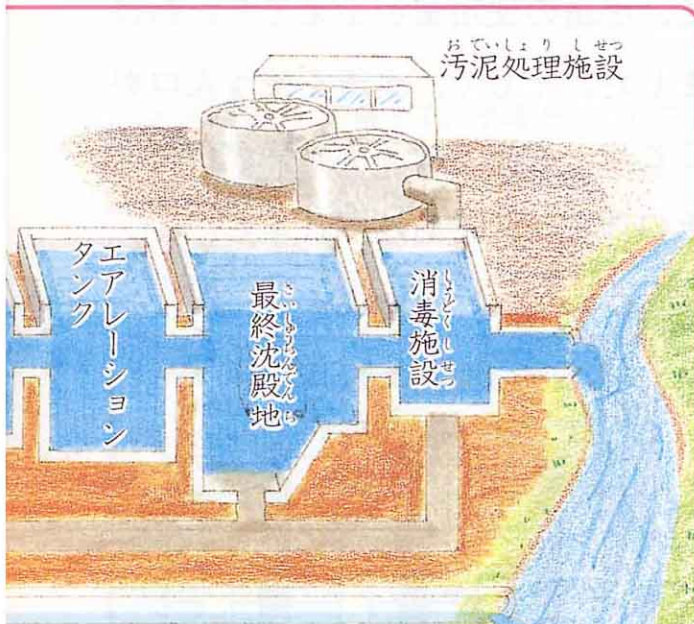


「^{げすい}下水管を通して、ほとんどが阿賀川に流されているらしいよ。その水をまた下流の市や町で水道水として使うんだって。」

会津若松市では、阿賀川の水をできるだけよごさないようにするために、^{こうさしまち}神指町に^{じょうか}下水浄化工場を作り、係の人たちが交代で下水をきれいにしています。

家や工場で使われた水は、どこへ流れていくのか考えてみましょう。

※下水道ができていのは、まだ市の一部ですが、市では、下水道を広げる計画をたてて、工事をすすめています。



で、^{びせいぶつ}微生物によってきれいにされます。
きれいになった水は、川に流したり、^{さいりよう}再利用されたりします。

① 市の下水計画

